

2025年3月期(2024年度) 第2四半期 決算説明会



「キレイ」のチカラで
みんなを笑顔に

2024年11月12日
日本精化株式会社

内容

1. Purposeについて
2. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年3月期 通期 業績予想
4. 資本政策・株主還元について

内容

1. Purposeについて
2. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年3月期 通期 業績予想
4. 資本政策・株主還元について

Purpose (現在の存在意義) を策定

Purpose

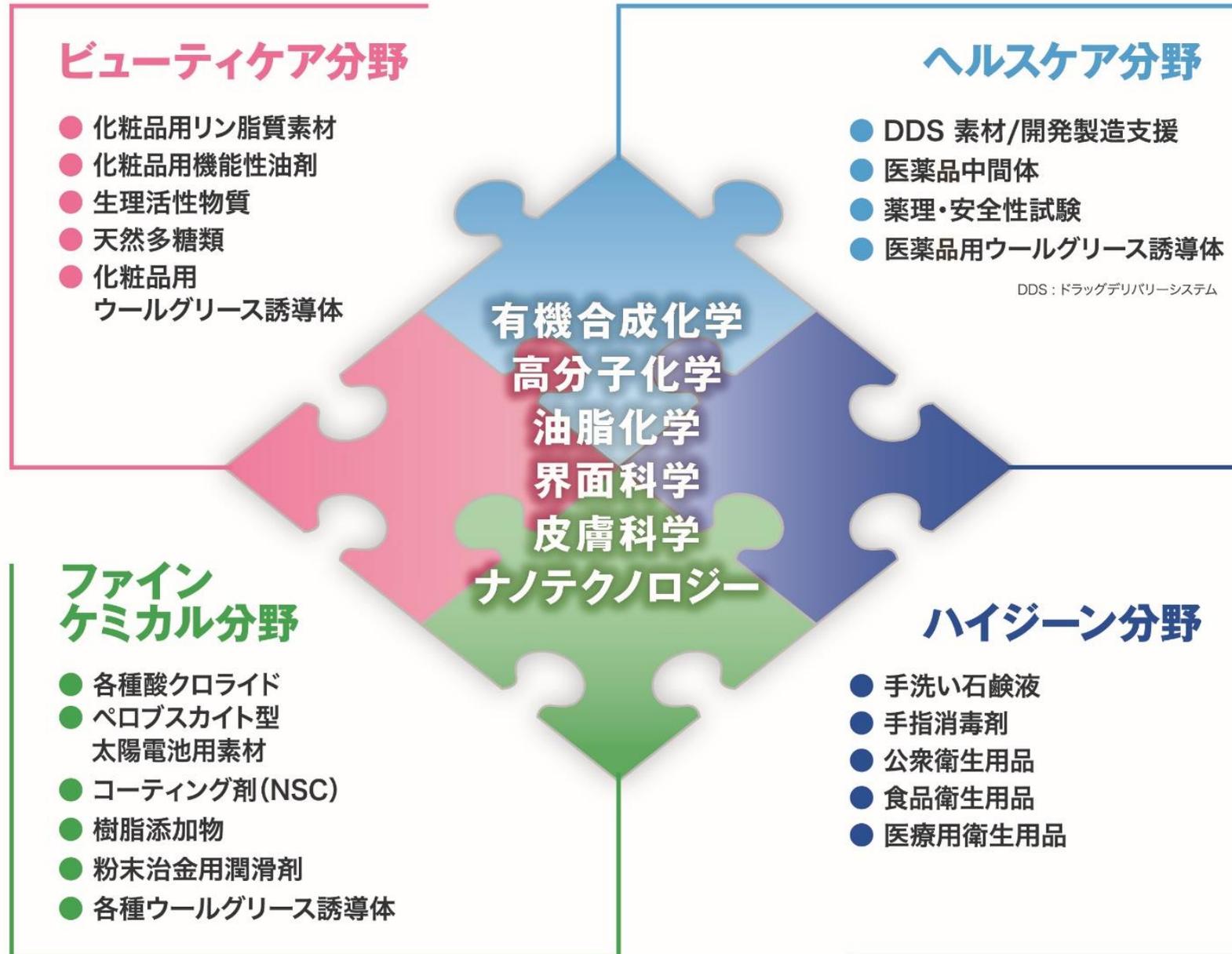
「カガク」と「キレイ」の
チカラで笑顔あふれる
サステナブル社会創造
に貢献し続ける



内容

1. Purposeについて
- 2. 2025年3月期 第2四半期 決算概要**
3. 2025年3月期 通期 業績予想
4. 資本政策・株主還元について

日本精化グループ 事業領域



2024年度第2四半期 連結決算概要

単位: 億円

	2023年度 上期	2024年度 上期	対前年 増減率	期首予想 (2024年4月30日公表)	予想比 増減率
	実績金額	実績金額		予想金額	
売上高	161.8	173.8	7.4%	170.0	2.2%
営業利益	19.6	24.0	22.4%	22.5	6.7%
営業利益率	12.1%	13.8%	—	13.2%	—
EBITDA(償却前営業利益)	25.7	30.6	19.4%	29.2	4.8%
EBITDAマージン	15.9%	17.6%	—	17.2%	—
経常利益	21.2	25.3	19.3%	22.5	12.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	15.0	17.9	19.6%	16.0	12.1%
1株当たりの当期純利益(円)	65.7	79.7	21.3%	71.1	12.1%

2024年度第2四半期 連結決算 営業利益分析

単位：億円



2024年度第2四半期 連結決算 セグメント別概要

単位: 億円

	2023年度 上期			2024年度 上期			対前年差額			対前年 増減率		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性製品	125.9	16.9	22.5	138.5	21.0	27.2	12.6	4.1	4.7	10.0%	24.3%	20.8%
ビューティケア	40.3	11.7	12.8	44.8	12.5	14.0	4.5	0.7	1.2	11.1%	6.1%	9.1%
ヘルスケア	23.3	0.0	3.6	29.3	4.4	8.1	6.1	4.4	4.5	26.1%	-	126.4%
ファインケミカル	25.0	3.5	4.4	25.1	2.2	3.1	0.1	▲1.4	▲1.3	0.3%	▲38.3%	▲30.4%
トレーディング	37.3	1.7	1.7	39.3	2.0	2.0	1.9	0.4	0.3	5.2%	22.7%	19.7%
環境衛生製品 (ハイジーン)	34.6	2.1	2.4	34.1	2.6	2.9	▲0.4	0.4	0.4	▲1.3%	20.2%	18.2%
その他	1.3	0.5	0.7	1.1	0.4	0.6	▲0.2	▲0.1	▲0.2	▲13.0%	▲27.2%	▲21.7%
連結合計	161.8	19.6	25.7	173.8	24.0	30.6	12.0	4.4	5.0	7.4%	22.4%	19.4%

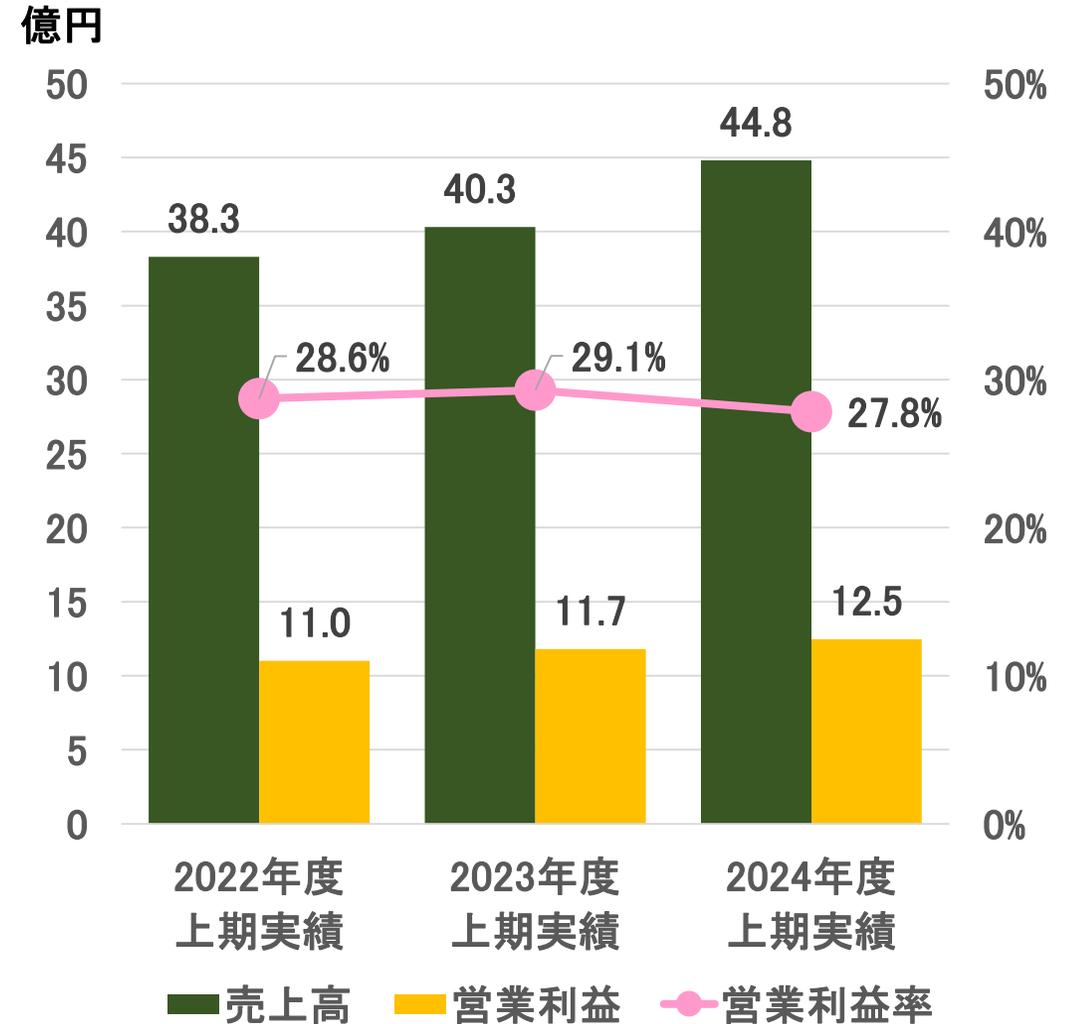
機能的製品 ビューティケア

対象品目

- ・化粧品用リン脂質素材
- ・化粧品用機能的油剤
- ・生理活性物質(美白主剤など)
- ・天然多糖類(シロキクラゲ多糖体、イヌリン)
- ・化粧品用WG誘導體(ラノリン・コレステロール)

第2四半期までの状況

- (+)「化粧品用機能的油剤」は、サステナブル対応による海外向け販売の大幅な増加、国内向け販売も堅調。
- (-)「化粧品用リン脂質素材」は中国景気低迷で減少。
- (-)「生理活性物質(美白主剤)」は国内向けで減少。



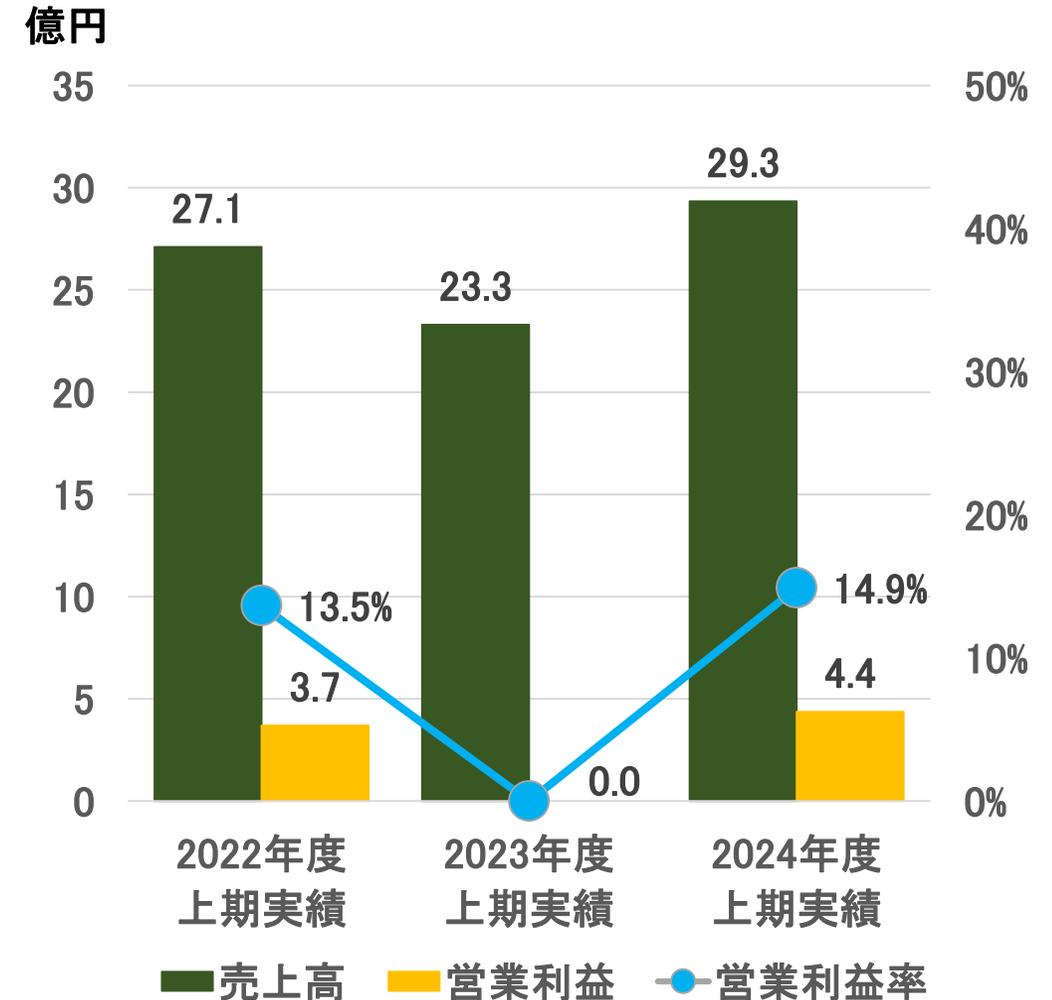
機能性製品 ヘルスケア

対象品目・サービス

- ・医薬品用高純度リン脂質
- ・医薬品用WG誘導体(ラノリン／コレステロール)
- ・CDMO開発支援(リポソーム化／LNP化)
- ・医薬品中間体
- ・薬理・安全性試験(日精バイリス)

第2四半期までの状況

- (±) Gilead向け: 新プラントが安定稼働(計画通り進捗)。
- (+) 医薬品用高純度リン脂質: 海外向けで売上好調。
- (+) 独自素材の連続合成プロセスによる製法の確立。
- (±) 医薬中間体の選択と集中の継続。
- (-) 薬理・安全性試験: 受注件数の減少。



* CDMO: Contract Development and Manufacturing Organization 医薬品製造開発受託

* LNP: リピッドナノパーティクル

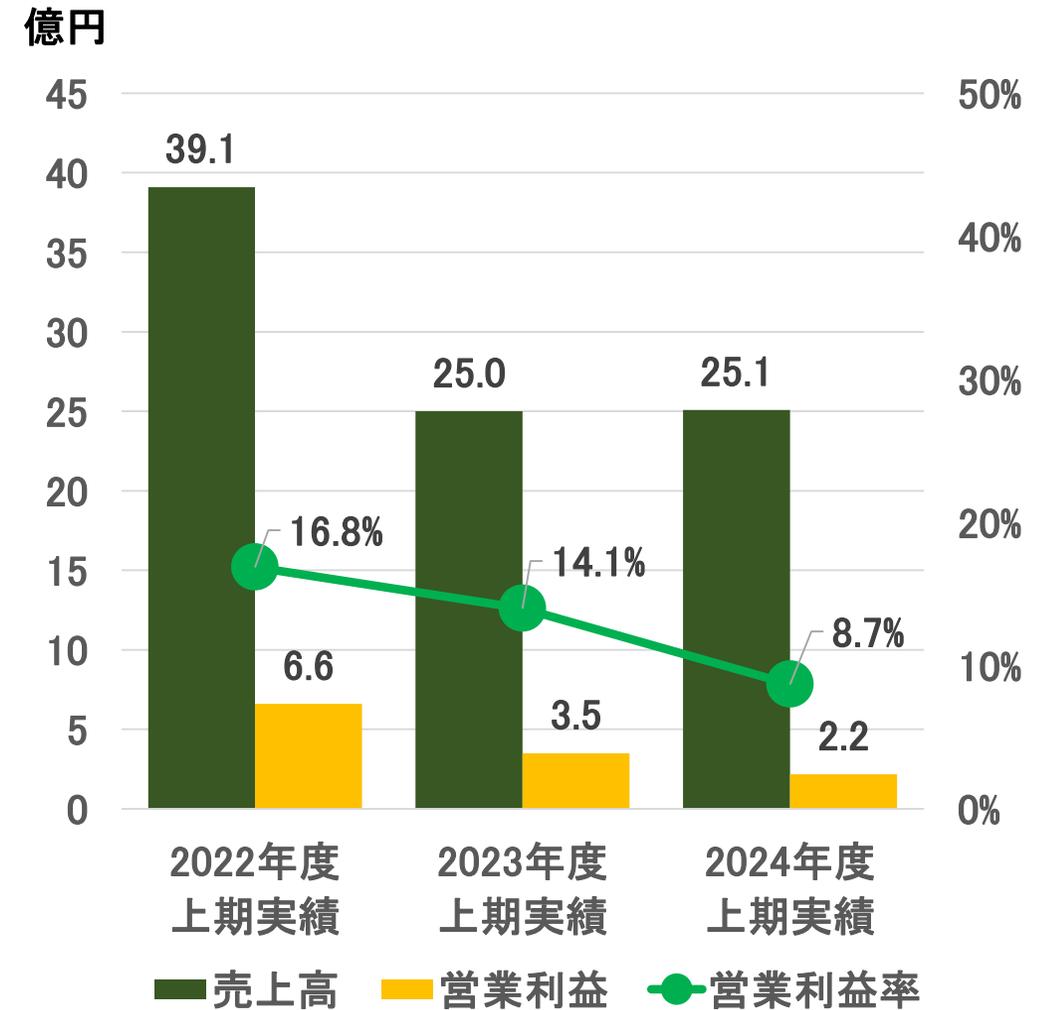
機能的製品 ファインケミカル

対象品目

- ・電子材料、資源エネルギー用素材(各種酸クロライド)
- ・ペロブスカイト型(PSC)太陽電池用素材
- ・樹脂添加物(脂肪酸アמיד)
- ・各種WG誘導体(飼料用コレステロール)
- ・コーティング剤(NSC)

第2四半期までの状況

- (±) 既存品の選択と集中を継続。
- (-) 各種酸クロライドの販売減少。
- (-) 各種WG誘導体の販売構成悪化、在庫調整の実施。
- (+) PSC太陽電池用素材: 社会実装が着実に進展。



環境衛生製品 ハイジーン

■ 対象品目・サービス

- ・手洗い石鹼液
- ・手指消毒剤
- ・公衆衛生用品
- ・食品衛生用品
- ・医療用衛生用品

■ 第2四半期までの状況

(+) 食品衛生用品:

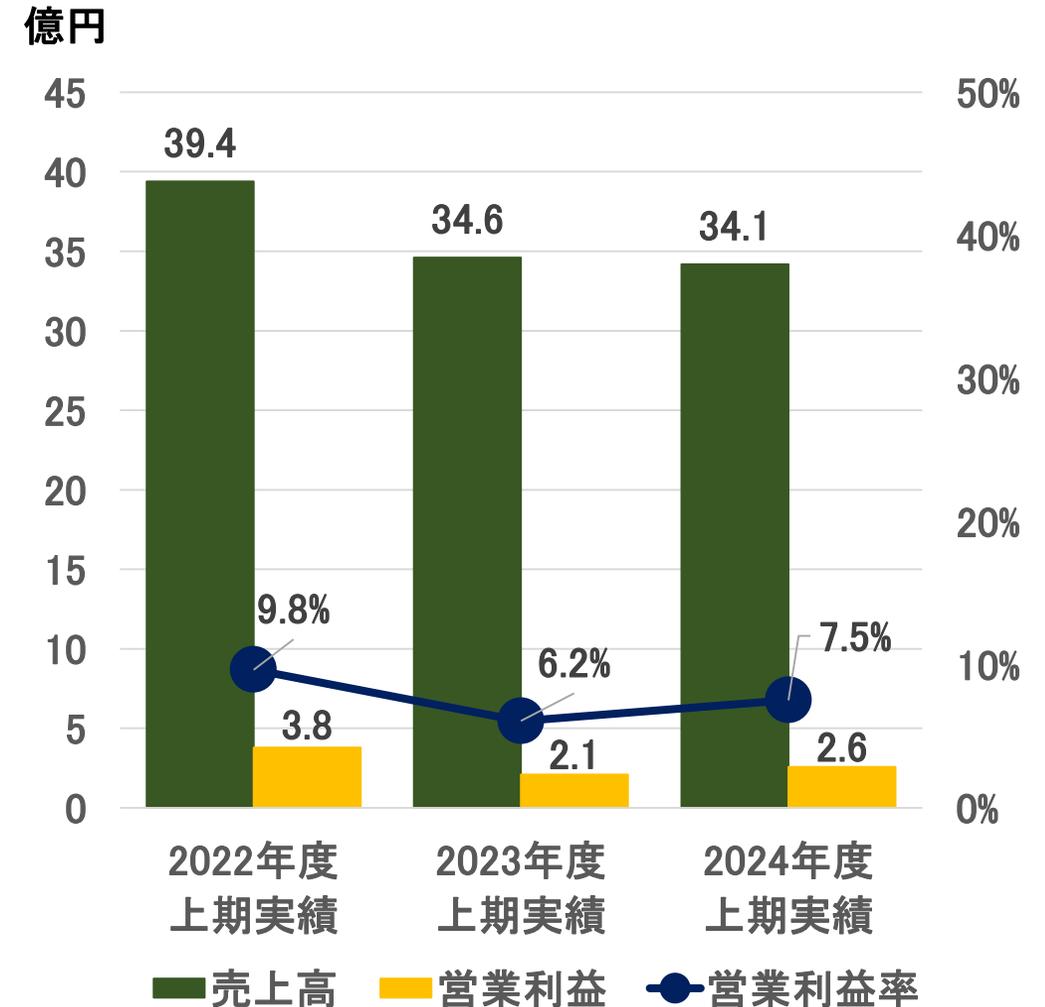
食品工場・受託給食向けに、
濃縮タイプ洗浄剤、中性洗剤で採用増加。

(+) 医療用衛生用品:

SPD業者との取組みを強化し採用数増加。

(-) 手指消毒剤:

流通在庫は解消も使用頻度減が響き販売減。



* SPD: Supply Processing and Distribution 院内物流管理システム
病院が使用する医療消耗品の供給・在庫・加工などの物流を一元管理する方法のこと。

2024年度第2四半期 連結貸借対照表

単位:億円

勘定科目	2024年9月末残高	前年度末比増減	主な増減要因
現預金	116.9	▲11.7	
売掛債権	86.0	▲5.7	
棚卸資産	96.1	▲2.0	
有形固定資産	149.7	+5.7	
投資その他資産	128.1	+5.7	一部売却も、投資有価証券含み益増加
その他	12.0	+2.2	
資産合計	588.7	▲5.8	
買掛債務	31.1	▲8.5	
繰延税金負債	26.0	+4.2	
その他	43.7	▲13.8	未払法人税△8.7、環境対策引当金△4.3
負債合計	100.8	▲18.1	
純資産合計	487.9	+12.3	自己資本比率78.5%→81.4%
1株当たり純資産	2,129.01円	+54.94円	

2024年度第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:億円

区分	2024年第2四半期	主な増減要因
税前利益	25.4	
減価償却	6.8	
運転資本増加	▲0.6	
法人税等支払	▲12.7	
その他	▲10.8	環境対策引当金▲4.3
営業CF	8.2	
投資CF	▲10.7	有形固定資産取得▲9.8
(フリーCF)	(▲2.5)	
財務CF	▲8.2	配当▲7.9
換算差額	▲0.2	
現金同等物増減	▲10.9	

2024年度上半期 トピックス

○本社ビル1階 展示スペースを開設(4月)



○化粧品原料用オープンラボ

The Design & Creation Lab. 稼働開始(4月)



○TCFDレポート2024(6月)

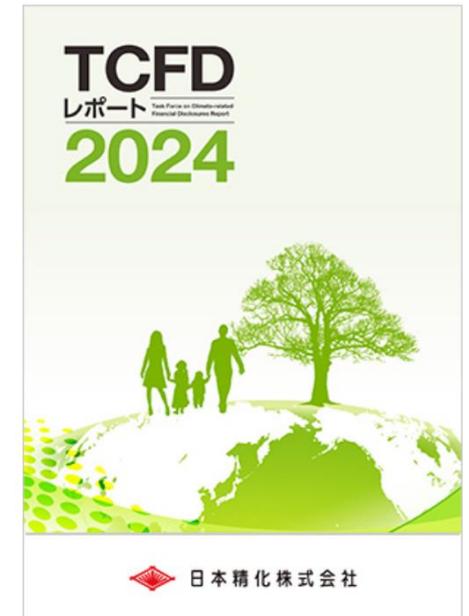
○リピッド事業本部

日本プロセス化学会にてJSPC優秀賞を受賞(7月)

連続生産プロセスの開発成果

(JSPC: the Japanese Society for Process Chemistry)

○「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」
を開示(8月)



内容

1. Purposeについて
2. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
- 3. 2025年3月期 通期 業績予想**
4. 資本政策・株主還元について

2024年度通期 連結業績予想 概要

単位：億円

	2023年度	2024年度	対前年 増減率	期首予想 (2024年4月30日公表)	予想比 増減率
	実績金額	予想金額		予想金額	
売上高	335.3	366.0	9.1%	357.0	2.5%
営業利益	42.0	48.5	15.5%	48.0	1.0%
営業利益率	12.5%	13.3%	—	13.4%	—
EBITDA(償却前営業利益)	55.0	62.1	12.9%	61.7	0.6%
EBITDAマージン	16.4%	17.0%	—	17.3%	—
経常利益	44.5	50.5	13.4%	49.0	3.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	33.3	35.5	6.7%	34.5	2.9%
1株当たりの当期純利益(円)	146.4	157.8	7.8%	153.4	2.9%

2024年度通期 連結業績予想 セグメント別

単位:億円

	2023年度実績			2024年度予想			2024年度期首予想			対前年 増減率			対期首 増減率		
	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA	売上高	営業利益	EBITDA
機能性製品	262.0	36.0	48.1	289.4	41.8	54.4	279.6	41.2	53.9	10.5%	16.0%	13.2%	3.5%	1.5%	1.0%
ビューティケア	79.4	21.9	24.4	92.0	24.6	27.7	88.5	22.8	26.1	15.9%	12.2%	13.5%	4.0%	7.9%	6.3%
ヘルスケア	58.3	4.5	11.9	59.4	8.0	15.7	63.0	7.0	14.7	1.9%	78.3%	31.7%	▲5.7%	14.2%	7.0%
ファインケミカル	52.0	6.4	8.4	58.0	5.5	7.2	53.6	8.0	9.7	11.5%	▲14.1%	▲13.7%	8.2%	▲31.2%	▲25.1%
トレーディング	72.3	3.2	3.3	80.0	3.7	3.8	74.5	3.4	3.5	10.7%	15.2%	12.9%	7.4%	8.7%	8.5%
環境衛生製品 (ハイジーン)	70.8	4.9	5.4	74.2	6.0	6.6	75.0	6.0	6.7	4.8%	23.0%	21.0%	▲1.1%	0.0%	▲1.2%
その他	2.5	1.1	1.4	2.4	0.7	1.0	2.4	0.8	1.1	▲5.0%	▲34.7%	▲27.6%	0.0%	▲12.6%	▲9.3%
連結合計	335.3	42.0	55.0	366.0	48.5	62.1	357.0	48.0	61.7	9.1%	15.5%	12.9%	2.5%	1.0%	0.6%

機能的製品 ビューティケア

外部環境

- (+) 国内市場の緩やかな拡大、特に高価格帯化粧品の伸長。
- (+) 欧米ブランドからのサステナブル素材への需要拡大の継続。
- (+) ECサイト・SNSのチャネルの急成長によるボーダレス化。
- (+) 長期的には化粧品人口の増加でグローバル市場拡大。
- (-) 中国の景気減速。

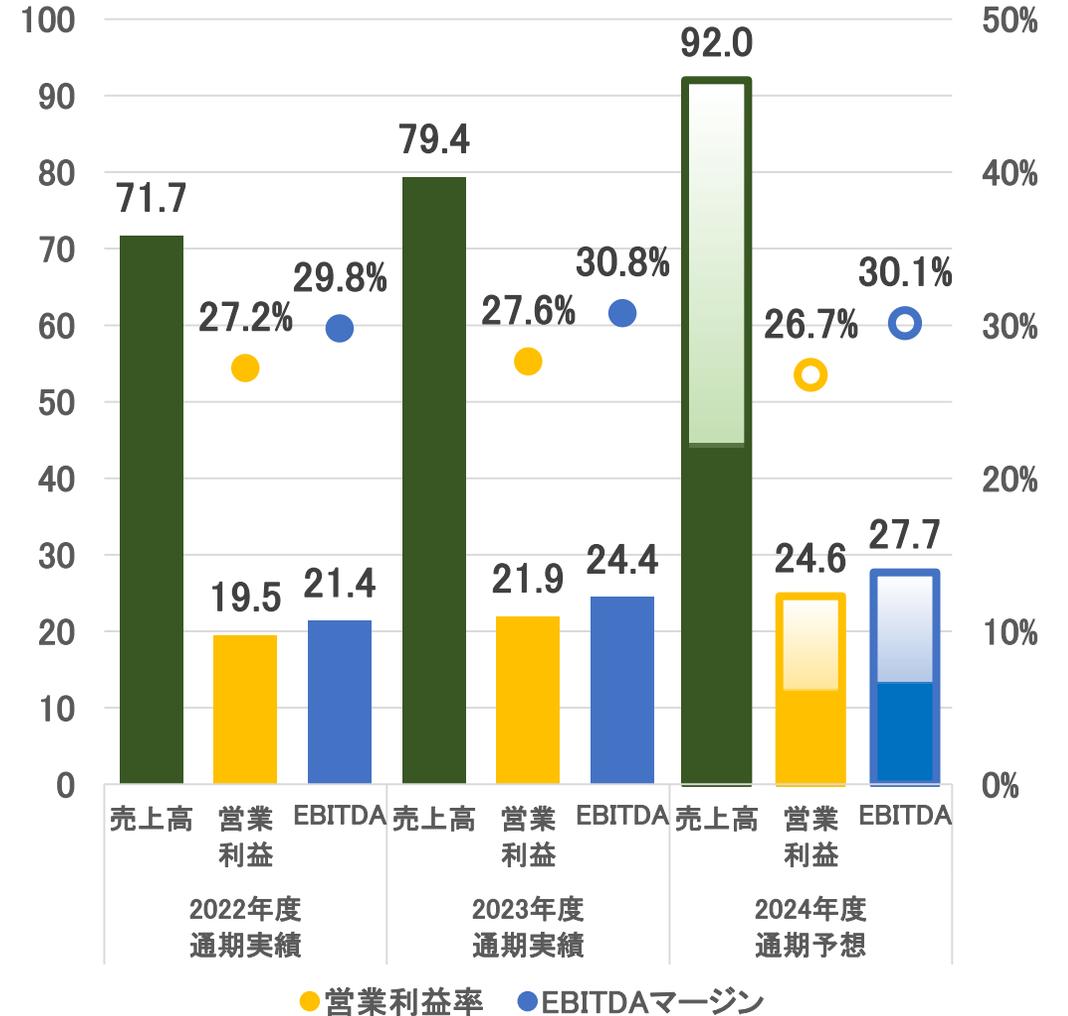
下期の見通し

- (+) 海外向け「化粧品用機能的油剤」の需要拡大の継続。
- (+) 「化粧品用リン脂質素材」の需要回復。
- (-) 国内「生理活性物質(美白主剤)」の販売減少。

活動方針

- ・化粧品用オープンラボで顧客の処方開発をサポート。
- ・化粧品用リン脂質素材の新規用途開発と拡販を強化。
- ・サステナブル素材の拡販と更なる認証対応の推進。
- ・適正価格での販売による収益性改善。
- ・生産能力増強に向け新プラント建設計画の推進。

億円



機能的製品 ヘルスケア

外部環境

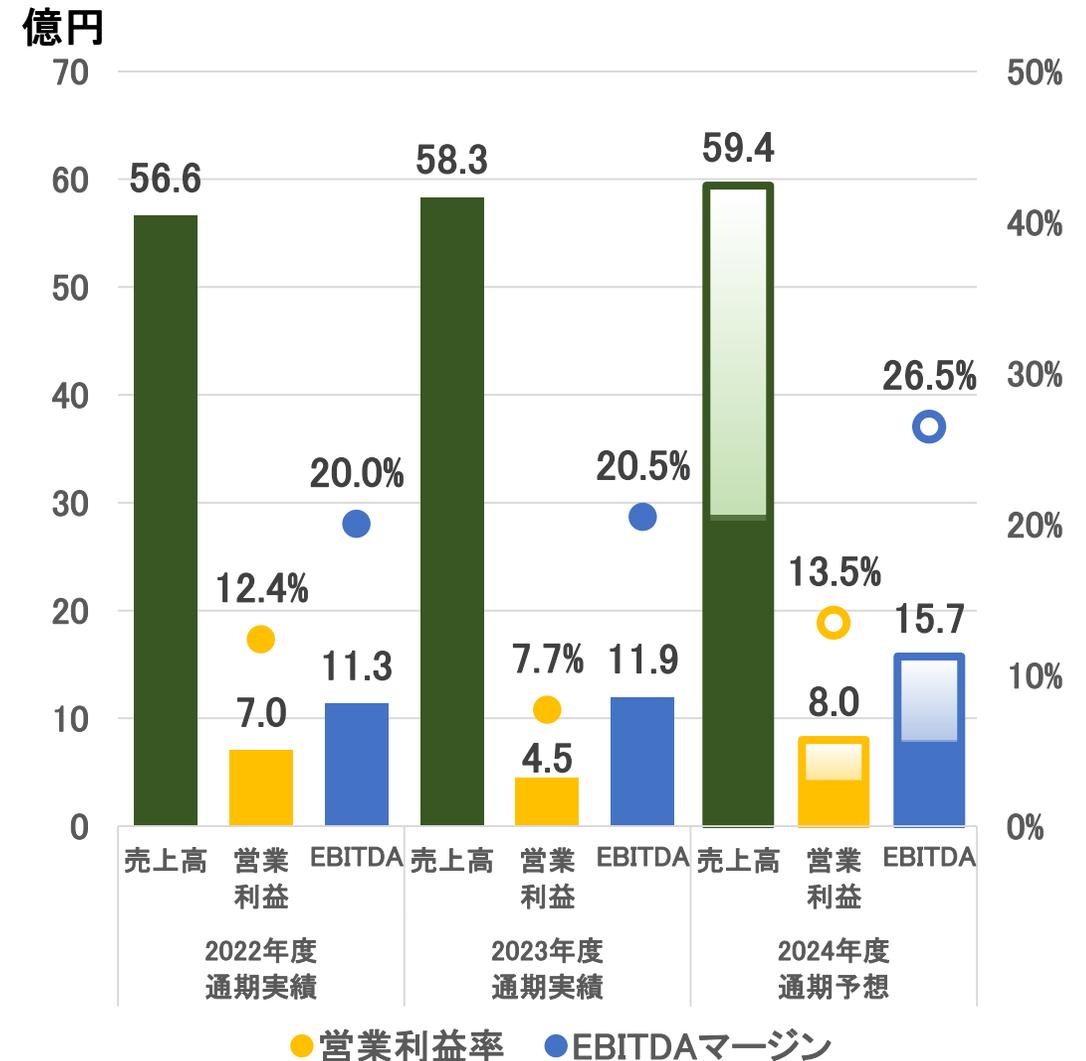
- (+) 成長モダリティに当社の医薬品用脂質の応用が可能。
- (+) 医薬品開発の分業化。
- (-) 競合の参入や再編による競争激化。

下期の見通し

- (±) 医薬品用リン脂質: 新プラントは計画通り稼働。
- (+) 海外向け医薬品用リン脂質の売上拡大。
- (±) 医薬品中間体: 選択と集中の継続。
- (±) 薬理・安全性試験: 新規受託案件の獲得で収益回復。

活動方針

- ・湘南ラボでのオープンイノベーションを推進。
- ・リポソーム化、LNP化のテーマの取込み分業化へ対応。
- ・医薬品用リン脂質: 新プラントでの安定供給体制を拡充。
- ・医薬品中間体: 選択した品目にリソース集中。



機能的製品 ファインケミカル

外部環境

- (+)ペロブスカイト型(PSC)太陽電池:社会実装へ加速
- (+)サステナブル素材の需要の拡大。
- (-)石化プラントの生産規模の縮小。
- (-)海外競合との価格競争の激化。

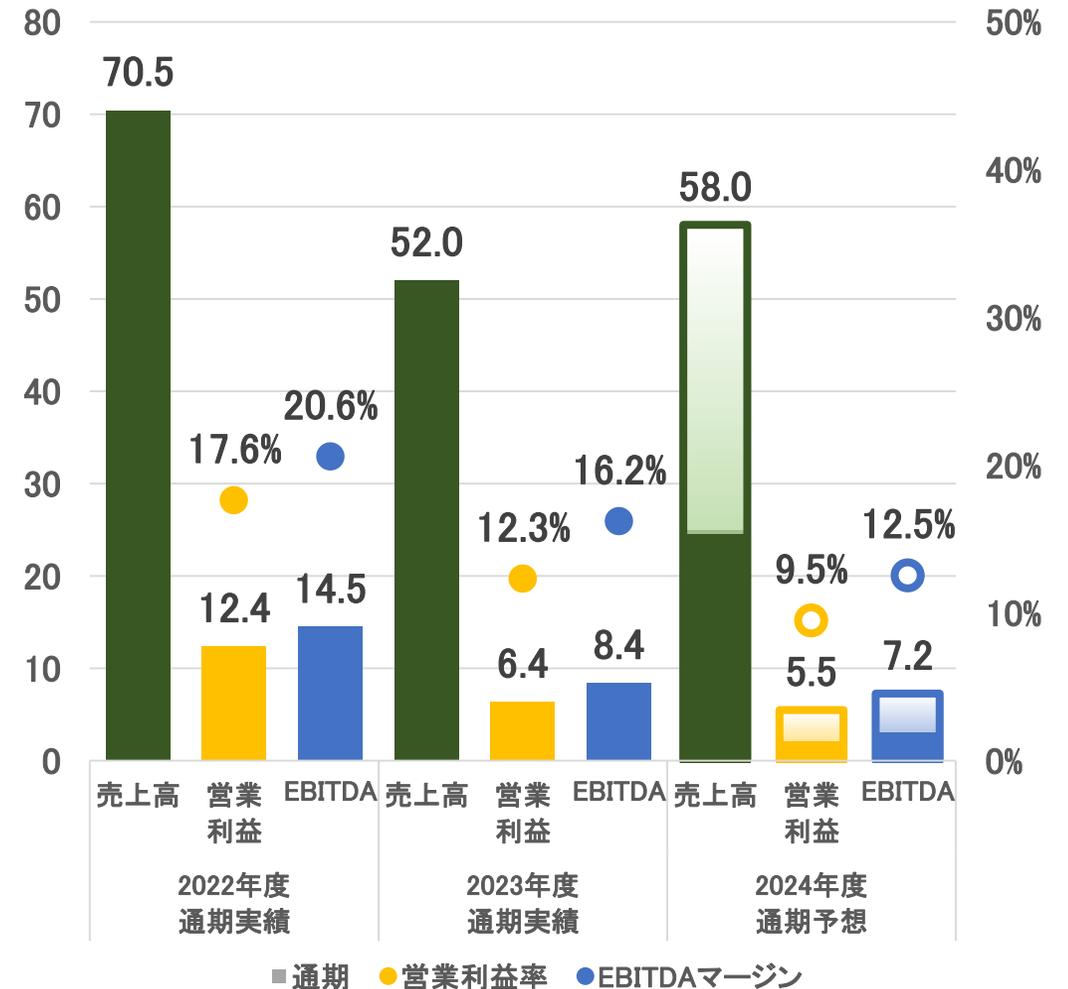
下期の見通し

- (+)PSC太陽電池材料の社会実装の加速。
- (+)WG誘導体:在庫調整、販売戦略の見直し。
- (-)品目構成により利益率が低下。

活動方針

- ・選択品目へのリソースの集中と将来のコア事業の育成。
- ・PSC太陽電池材料:社会実装へ量産化体制の検討。
- ・WG誘導体:市場環境に見合う効率的生産体制の推進。
- ・脂肪酸アマイド:
 - サステナブル社会に貢献する用途の販売拡大。
- ・コーティング剤:新製品の拡販、海外での売上拡大。

億円



環境衛生製品 ハイジーン

■ 外部環境

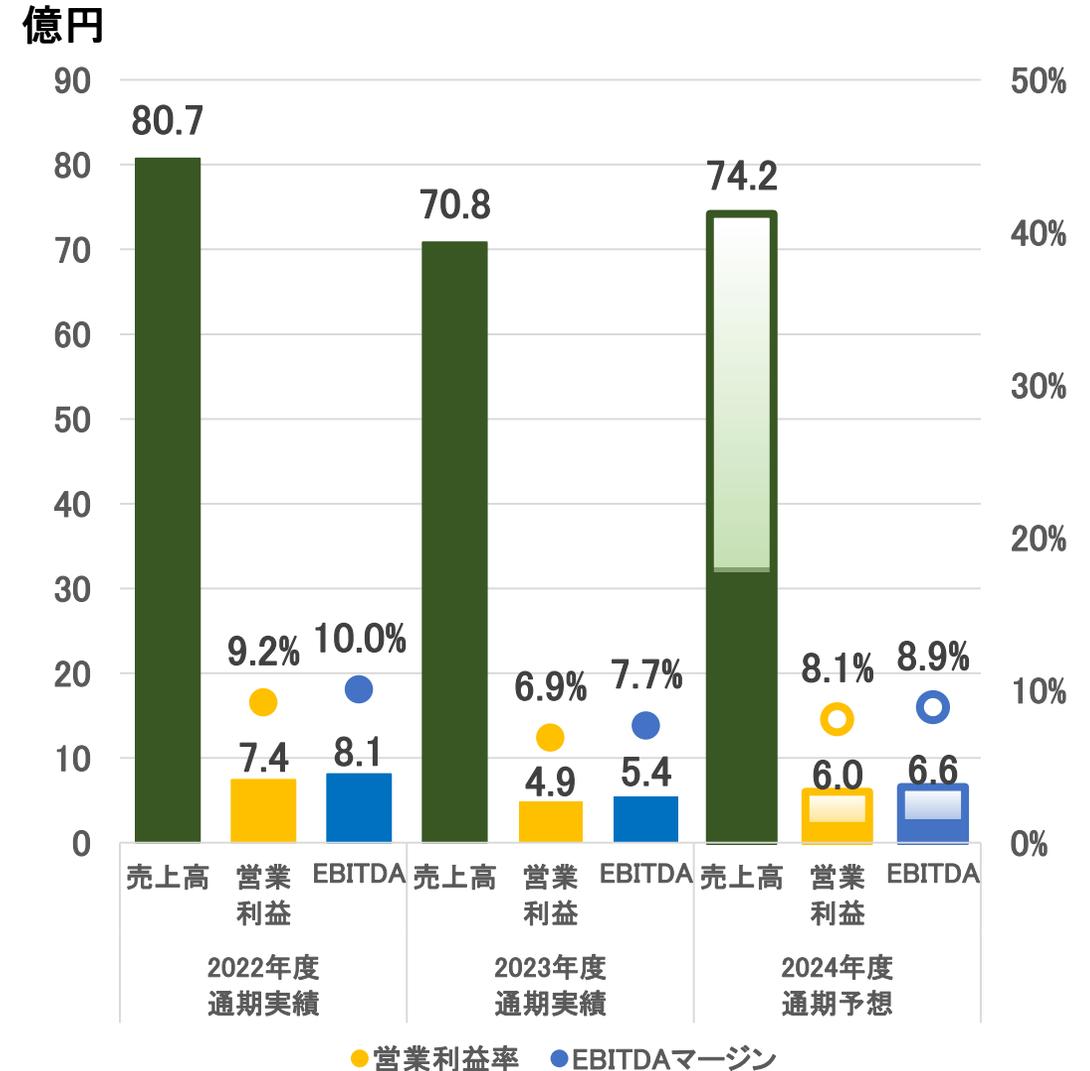
- (+) 7月1日から厚生労働省によるアルコール製剤の取扱いに関する特例通知廃止による需要増。
- (+) 南海トラフなど災害に対する自治体の備蓄意識の向上。
- (+) 介護市場の伸長。
- (-) 感染対策への意識低下。(感染対策品の使用減)

■ 下期の見通し

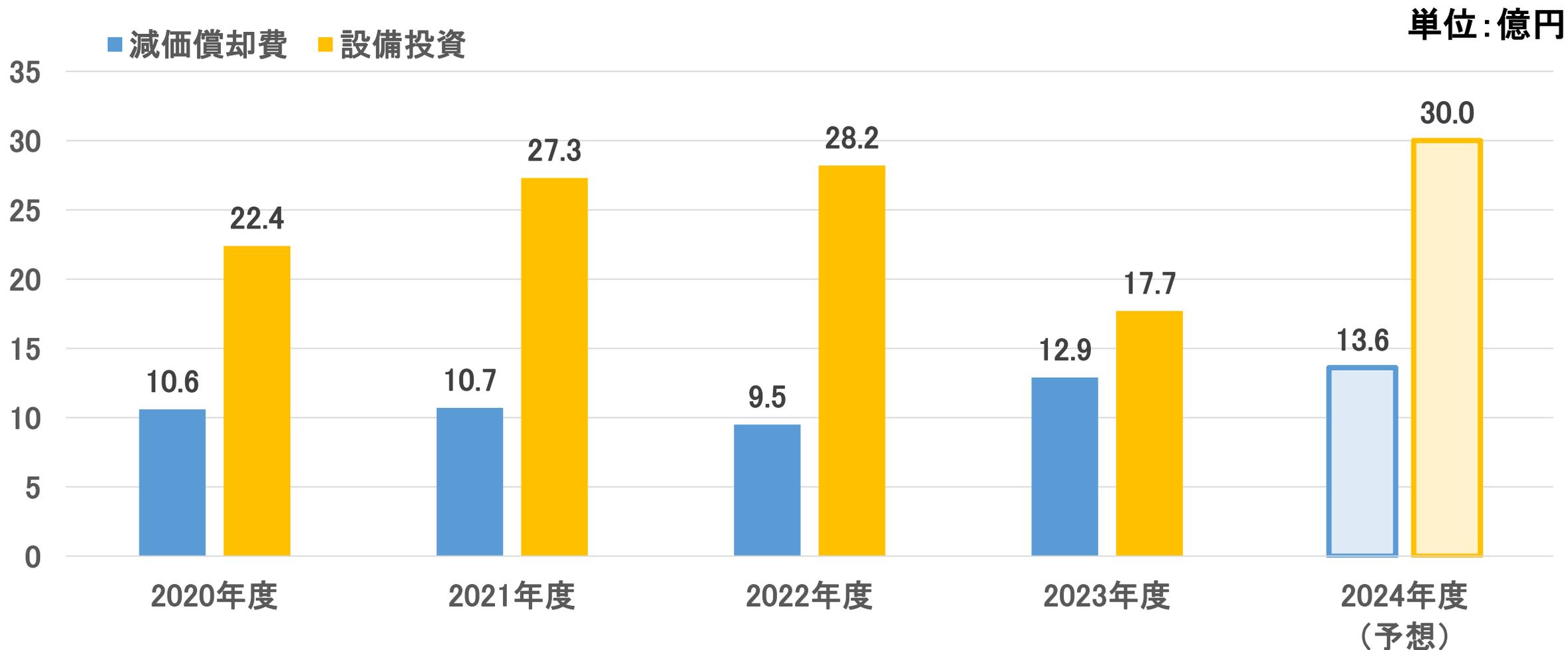
- (+) 季節性インフルエンザの影響など下期偏重の見通し。
- (+) SPD業者との連携による医療用衛生製品の伸長。
- (+) 新製品「あったかいご」シリーズの売上貢献。

■ 活動方針

- ・自治体および企業備蓄への手指消毒剤の販売強化。
- ・サステナブル製品(濃縮タイプ、他)の上市、ラインナップ拡充による拡販。
- ・食品工場の設備洗浄に適した洗浄剤の拡販の継続。
- ・病院・介護施設への販売強化。



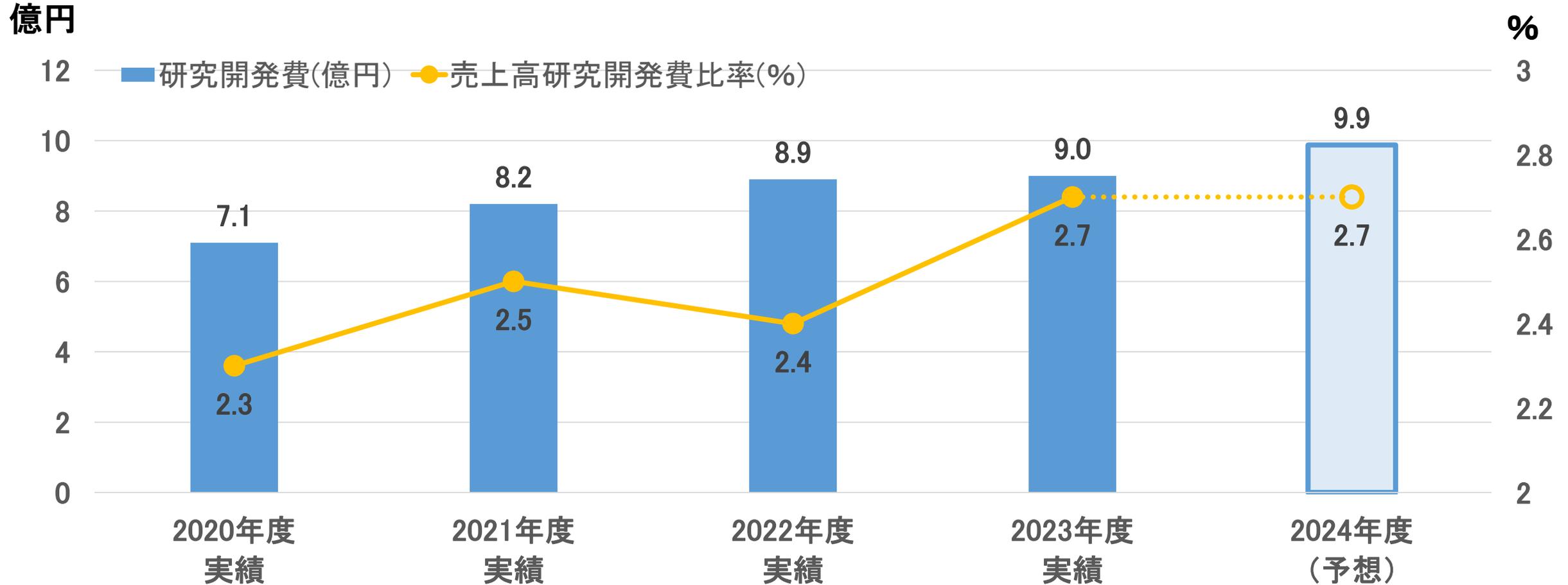
2024年度通期 連結予想 設備投資



2024年度 主な設備投資

- 加古川東事業所 事務厚生棟の新設
- ビューティケア分野製品の生産能力増強・投資

2024年度通期 連結予想 研究開発投資



- サステナブル対応製品開発 (化粧品原料/PSC太陽電池素材)
- オープンイノベーション (湘南ラボ)
- フローリアクター (連続合成)
- プロセスシミュレーター

内容

1. Purposeについて
2. 2025年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2025年3月期 通期 業績予想
4. **資本政策・株主還元について**

資本政策・株主還元

- ・株主還元の充実のため、DOE目標を3.5%目安に設定
- ・総還元性向の目標を4ヶ年(2023-2026年度)平均50%以上に設定
- ・政策保有株式を段階的に縮減、2026年度末までに政策保有株式比率17%以下を設定

	20年度 実績	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	24年度 予想
DOE(%)	2.1	3.0	3.0	3.5	3.5(目安)
1株当たり配当額(円)	35	54	57	70	74
総還元性向(%)	30	45	79	77	平均50%以上(*1)
政策保有株式比率(%)	28	24	25	24	—

(*1)4ヶ年(2023-2026年度)平均50%以上

- ・DOE: 連結純資産配当率 (年間配当総額÷連結純資産)
- ・総還元性向: (配当総額+自己株式取得額)÷親会社株主に帰属する当期純利益
- ・政策保有株式比率: 「保有目的が純投資目的以外の目的である投資株式」の「貸借対照表計上額の合計額」が連結純資産に占める比率

- 本資料に記載している業績予想等に関する記述は各資料の作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
- 実際の業績は、各種要因により、これらの業績予想とは異なる結果になり得ることをご承知おきください。